

科目名	コーチング実習A							年度	2025
英語科目名	Coaching practice A							学期	後期
学科・学年	スポーツ健康学科 テニスコース 1年次	必／選	選※	時間数	60	単位数	2	種別※	実習
担当教員	鷲田、柳田	教員の実務経験		有	実務経験の職種		日本テニス協会公認S級エリートコーチ/日本スポーツ協会公認テニスコーチ4口		
【科目の目的】 日本スポーツ協会公認テニスコーチ1・2/テニス教師の取得に向けて、学内外で指導者としての指導実践経験を積み、テニス業界人としての資質の向上を目指します。									
【科目の概要】 テニスクール、学内などでコーチングの現場実習を行います。									
【到達目標】 A チーフコーチとしてレッスンを運営することができる B アシスタントコーチとしてチーフコーチの要求に答えることができる C 大きな声でハッキリと指示が出せる・復唱できる									
【授業の注意点】 現場実習中は教員・スクール関係者の指示に従い、身勝手な行動は絶対に取らないようにしてください。身勝手な行動等を起こし他人に迷惑をかけるような者は単位取得を認めません。									
評価基準＝ルーブリック									
ルーブリック 評価	レベル5 優れている	レベル4 よい	レベル3 ふつう	レベル2 あと少し	レベル1 要努力				
到達目標 A	チーフコーチとしてレッスンを運営することができる		代行でチーフコーチとしてレッスンを運営することができる		レッスンの一部分でメインコーチとしてレッスンを運営することができる				
到達目標 B	アシスタントコーチとしてチーフコーチの要求に答えることができる		アシスタントコーチとしてチーフコーチの要求にある程度答えることができる		アシスタントコーチとしてチーフコーチの要求に答えることがあまり上手くない				
到達目標 C	大きな声でハッキリと指示が出せる・復唱できる		ある程度大きな声で指示が出せる・復唱できる		大きな声でハッキリと指示・復唱があまり上手くない				
【教科書】 テニス指導教本1・2									
【参考資料】									
【成績の評価方法・評価基準】 試験と課題を総合的に評価します。積極的な授業参加度、授業態度によって評価します。									
※種別は講義、実習、演習のいずれかを記入。									

